

2024年度 学校法人滋慶学園 福岡医健・スポーツ専門学校 学校関係者評価委員会(2023年度評価シート)

【2024年5月17日実施】

2023年度 自己点検自己評価(2023年4月1日～2024年3月31日)

学校関係者評価委員【委員合計13名】

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応:4 ほぼ適切に対応:3 やや不適切:2 不適切:1			適切に対応:4 ほぼ適切に対応:3 やや不適切:2 不適切:1	
1 教育理念・目的・育人人材像	1. 理念・目的・育人人材像は、定められているか	4	1. 福岡医健・スポーツ専門学校は滋慶学園グループに属し、「職業人教育を通して社会に貢献する」ことをミッションとしている。このことを実践する為に、「実学教育」「人間教育」「国際教育」という3つの建学の理念を基本に教育を実施している。また、その結果として、学生・保護者からの信頼、高等学校からの信頼、産業界からの信頼、地域からの信頼という4つの信頼の獲得を目指している。新型コロナウイルスの影響で「国際教育」の一環として実施している海外実学研修を中止していたが、5類移行を機に2023年度より再開した。職員の入替わりも少なからずあるため、研修や日々の業務において継続して周知徹底が必要である。	職業人教育は、専門職業教育とキャリア教育から成る。専門職業教育とは、即戦力としての高度な技術・知識の習得であり、キャリア教育とは、プロの職業人として必要な人間力、仕事に対する身構え・気構え・心構えの習得及び職業観・勤労観の確立を言う。 <福岡医健・スポーツ専門学校 3つのポリシー> (1)アドミッションポリシー(入学者受入方針) ①将来の夢や目標を持っている人。 ②好きな分野を通じて、人に喜びや感動を与えたい人。 ③本校の教育内容や方針を十分に理解している人。 ④「好きなことを仕事にしたい」という気持ちを持っている人。 (2)カリキュラムポリシー(教育編成方針) ①実学教育:業界において求められる即戦力としての知識・技術を習得する。 ②人間教育:「今日も笑顔で挨拶を」のスローガンの下、社会人基礎力やセルフマネジメント、チームマネジメント、コミュニケーション力、職業観、仕事観、仕事に対する身構え・気構え・心構えなどをあらゆる機会を通して育成する。 ③国際教育:グローバル化している現代社会において、英会話教育や海外実学研修などを通して国際的な感性を養い、広く世界に通用する人材を養成する。 (3)ディプロマポリシー(卒業認定等の方針) ①各学科で定めた所定の単位を修得している。 ②業界が求める即戦力としての知識・技術を習得し、職業を通じて社会に貢献できる。 ③職業人としての身構え、気構え、心構えを身に付けると共に、コミュニケーションが取れる。 ④リーダーシップを発揮しながらも他者との協調が取れるなど、セルフマネジメント、チームマネジメントができる。 ⑤国際的な感性を身に付けている。	4	・学生の気質も年々変化している。<鍼灸> ・学生と学校教育との求められるものが異なっていると思うが、そのミゾをうまく補って質の高い教育を行っていただきたい。<鍼灸> ・国際的な視野は今後益々必要となるので、さらに進めていただきたい。<鍼灸> ・人間教育がやはり大切な事であるし、それを社会に出る為に最も大事なことでと学生に感じて欲しい。<救急> ・国際教育は、これから大事なことであろうと考える。<救急> ・教育理念に沿ってしっかりと指導していると思う。<理学> ・多様性の時代、国際的な感性も必要だが、日本人としての資質を理解したうえのほうが、より国際人の一員として視野が開けるものと思われる。<作業> ・いろんなアドバイスを取り込んで一番必要な指導をしていくことは保護者の目線からしても安心して学校側に任せられると思う。<保護者> ・個々の力を引き出してくれると良いと思う。<保護者> ・スポーツでは分析することがより重要視されているということだが、他学科ではどのようなニーズがあるのか詳しく知りたい(AIの活用など)。<卒業生> ・私の会社は、スポーツに関わる事業を行っている。医健は実学教育を行っていることがとても良いと感じている。実学教育に重点をおかれ、社会に出て即戦力の職業人教育をされている点は、大いに評価される。また、先生と学生間でコミュニケーションがしっかりと取れていると感じる。<スポーツ> ・産学連携で企業・団体との共同体制は、有意義でもあり有効であると思われる。<スポーツ> ・一部学科の学外実習が十分ではないとの事だが、具体的な学科のどの実習か。<業業> ・看護学生の実習を受入れており、学生を見ていると理念の1つである人間教育が浸透していると感じる。それは、実習に対する姿勢や言葉、態度で感じる。<看護> ・当院に医健から就職される方全員が社会人基礎力があるなど頼もしく見ている。<看護> ・教育理念について、入学検討者がわかりやすいように3つのポリシーが挙げられており高評価できる。<歯科> ・特にありません。<地域>
	2. 育人人材像は専門分野に関連する業界等のニーズに適合しているか		2. 教育課程編成委員会を始め、産学連携教育の実践強化、業界のプロである講師、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、就職説明会、教員による実習巡回など様々な機会を捉えて企業・業界から情報を収集し、業界のニーズに適合した人材育成に努めている。しかし、一部学科においては学外実習の機会が十分でないため改善が必要である。	2023年度は第7期 5か年計画の2年目。 滋慶学園の「人は仕事を通じて成長する」という考えの下、滋慶学園グループの研修、学校の研修、学科・部署単位の研修、現場で行うOJT、個人で取り組む自己啓発等を通して職員の成長を促進し、学校運営力、クラス運営力の向上を図っている。 滋慶学園グループの理念を明文化した「滋慶語録」について、朝礼において各スタッフが日々の業務でどのように活用しているかスピーチするなど、理念の周知徹底に取り組む、理念に沿った適切な組織運営を図っている。 また、学科ごとに、それぞれの業界が主催する専門分野に関する研修会にも積極的に参加して、最新の技術・知識の習得を図ると共に、常に業界のニーズの把握に努めている。		・外から見ての感想であるが、きちんと運営されていると思う。<鍼灸> ・なかなか一人ひとりを評価していくのは大変な事であろうと思う。<救急> ・一人ひとりを評価するための強い組織があり、スタッフが成長していくことは素晴らしい。<救急> ・今後も職場満足の向上に期待している。<理学> ・教職員の個人別力量評価はどのように行われているのか。<作業> ・ベテランと新人の力量の差を埋めるためにはどのような工夫を行っているのか(きめ細やかなマニュアル作成等)。<作業> ・学校全体が一つとなって進んでいくことは良いと思う。<保護者> ・先生方の連携が取れることで学生たちの向上も結果として出るのはないか。<保護者> ・学生を如何に成長させるかと同時に職員も愛情を持って接していると感じる。<スポーツ> ・職員自身の成長を評価する為にも、今後は職員の方ともコミュニケーションを増やしていきたい。<スポーツ> ・学生さんは、満足度の度合いを表情で感じる事が出来るので凄く有難い表情を頂けて嬉しい。<スポーツ> ・「人は仕事を通じて成長する」。病院運営のマネジメントは「マネジメントは人を介して行うもの」。教育も医療の現場も本質は同じだと実感している。<看護> ・事業計画に基づいて各種会議を行いながら運営がされており、情報共有も徹底され、好印象である。<歯科>
3 学校運営	3. 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	3. 教育理念の達成に向け、教育コンセプトとして「業界と共に業界に必要な即戦力の人材を育成し、業界に送り出す」という「産学連携教育」を開校以来、実践してきた。 具体的には、講師の派遣、学習する題材としての企業課題や企業プロジェクトの提供、機材・機器選定のアドバイス、研修・実習の受入、特別講義の実施など、多岐に渡って協力を頂いている。 また、新入生オリエンテーション、授業、ホームルーム、教科指導、実習指導、生活指導、就職指導などあらゆる機会を通して、3つの教育理念に基づく教育を実践している。		4	
	4. 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか		4. 教育課程編成委員会や業界からのアドバイスに基づいて、社会のニーズや業界の変化に合わせて適宜適切にカリキュラムや授業内容の改善を図ると共に、最新機材の導入や新たな講師の発掘などに努めている。			
2 学校運営	1. 理念に沿った運営方針を定めているか	4	1. 滋慶学園の理念のもと策定された滋慶学園グループ5か年計画に基づいて、本校の運営方針を定めている。		4	
	2. 理念等を達成する為の事業計画を定めているか		2. 滋慶学園グループ第7期5か年計画を受け、本校の事業計画を定めている。事業計画には、グループ全体の方針や方向性、組織、各部署における目標や取組、業務分掌、各種会議、研修など多岐に渡って明確に示されている。また、広報・教務・就職等各部署単位で具体的な目標設定がなされ、それに沿って各人が目標を設定し実行している。これを半期ごとにチェック・管理している。内容は、事業計画の核を成す組織目的、運営方針、実行方針、実行計画で構成される。事業計画は、法人常務理事会、法人理事会の決意を受けて承認され、全教職員に周知徹底している。			
2 学校運営	3. 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	3. 理事会・評議員会は寄附行為に基づき適切な時期に開催され、必要な審議がなされ、適切な手続きを経て適切に組織を運営している。		4	
	4. 学校運営の為の組織を整備しているか		4. 事務局長会議、教務部長会議、また学校単位では、全体会議、リーダー会議、教務会議、学科会議、国試会議、学生満足度向上会議、広報会議、各種研修・勉強会等を定期的実施し、全ての教職員が組織の方針や考え方を十分に理解したうえで、同じ目的・目標に向かって協力の下、適切な学校運営の実践とイノベーションに務めている。			
2 学校運営	5. 人事・給与に関する制度を整備しているか	4	5. 滋慶学園グループの人事・給与等を包括的に管理する(株)滋慶サービスの下、適切に運営されている。また、人事・給与に係る制度は、就業規則に明文化され、全教職員に周知・共有されている。		4	
	6. 意思決定システムを整備しているか		6. 事業計画の組織図には、学校に関わる人材が明記され、自己の組織上の位置づけを誰もが理解できるようになっている。そして、この組織図に基づいて、適切に意思決定がなされている。決定項目によって、事務局長、教務部長、キャリアセンター室長、学科長、主任等への更なる権限委譲を図り、より効率的かつ迅速な意思決定を行う。			
2 学校運営	3. 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	3. 理事会・評議員会は寄附行為に基づき適切な時期に開催され、必要な審議がなされ、適切な手続きを経て適切に組織を運営している。		4	
	4. 学校運営の為の組織を整備しているか		4. 事務局長会議、教務部長会議、また学校単位では、全体会議、リーダー会議、教務会議、学科会議、国試会議、学生満足度向上会議、広報会議、各種研修・勉強会等を定期的実施し、全ての教職員が組織の方針や考え方を十分に理解したうえで、同じ目的・目標に向かって協力の下、適切な学校運営の実践とイノベーションに務めている。			
2 学校運営	5. 人事・給与に関する制度を整備しているか	4	5. 滋慶学園グループの人事・給与等を包括的に管理する(株)滋慶サービスの下、適切に運営されている。また、人事・給与に係る制度は、就業規則に明文化され、全教職員に周知・共有されている。		4	
	6. 意思決定システムを整備しているか		6. 事業計画の組織図には、学校に関わる人材が明記され、自己の組織上の位置づけを誰もが理解できるようになっている。そして、この組織図に基づいて、適切に意思決定がなされている。決定項目によって、事務局長、教務部長、キャリアセンター室長、学科長、主任等への更なる権限委譲を図り、より効率的かつ迅速な意思決定を行う。			
2 学校運営	3. 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	3. 理事会・評議員会は寄附行為に基づき適切な時期に開催され、必要な審議がなされ、適切な手続きを経て適切に組織を運営している。		4	
	4. 学校運営の為の組織を整備しているか		4. 事務局長会議、教務部長会議、また学校単位では、全体会議、リーダー会議、教務会議、学科会議、国試会議、学生満足度向上会議、広報会議、各種研修・勉強会等を定期的実施し、全ての教職員が組織の方針や考え方を十分に理解したうえで、同じ目的・目標に向かって協力の下、適切な学校運営の実践とイノベーションに務めている。			
2 学校運営	5. 人事・給与に関する制度を整備しているか	4	5. 滋慶学園グループの人事・給与等を包括的に管理する(株)滋慶サービスの下、適切に運営されている。また、人事・給与に係る制度は、就業規則に明文化され、全教職員に周知・共有されている。		4	
	6. 意思決定システムを整備しているか		6. 事業計画の組織図には、学校に関わる人材が明記され、自己の組織上の位置づけを誰もが理解できるようになっている。そして、この組織図に基づいて、適切に意思決定がなされている。決定項目によって、事務局長、教務部長、キャリアセンター室長、学科長、主任等への更なる権限委譲を図り、より効率的かつ迅速な意思決定を行う。			
2 学校運営	3. 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	3. 理事会・評議員会は寄附行為に基づき適切な時期に開催され、必要な審議がなされ、適切な手続きを経て適切に組織を運営している。		4	
	4. 学校運営の為の組織を整備しているか		4. 事務局長会議、教務部長会議、また学校単位では、全体会議、リーダー会議、教務会議、学科会議、国試会議、学生満足度向上会議、広報会議、各種研修・勉強会等を定期的実施し、全ての教職員が組織の方針や考え方を十分に理解したうえで、同じ目的・目標に向かって協力の下、適切な学校運営の実践とイノベーションに務めている。			
2 学校運営	5. 人事・給与に関する制度を整備しているか	4	5. 滋慶学園グループの人事・給与等を包括的に管理する(株)滋慶サービスの下、適切に運営されている。また、人事・給与に係る制度は、就業規則に明文化され、全教職員に周知・共有されている。		4	
	6. 意思決定システムを整備しているか		6. 事業計画の組織図には、学校に関わる人材が明記され、自己の組織上の位置づけを誰もが理解できるようになっている。そして、この組織図に基づいて、適切に意思決定がなされている。決定項目によって、事務局長、教務部長、キャリアセンター室長、学科長、主任等への更なる権限委譲を図り、より効率的かつ迅速な意思決定を行う。			
2 学校運営	3. 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	3. 理事会・評議員会は寄附行為に基づき適切な時期に開催され、必要な審議がなされ、適切な手続きを経て適切に組織を運営している。		4	
	4. 学校運営の為の組織を整備しているか		4. 事務局長会議、教務部長会議、また学校単位では、全体会議、リーダー会議、教務会議、学科会議、国試会議、学生満足度向上会議、広報会議、各種研修・勉強会等を定期的実施し、全ての教職員が組織の方針や考え方を十分に理解したうえで、同じ目的・目標に向かって協力の下、適切な学校運営の実践とイノベーションに務めている。			
2 学校運営	5. 人事・給与に関する制度を整備しているか	4	5. 滋慶学園グループの人事・給与等を包括的に管理する(株)滋慶サービスの下、適切に運営されている。また、人事・給与に係る制度は、就業規則に明文化され、全教職員に周知・共有されている。		4	
	6. 意思決定システムを整備しているか		6. 事業計画の組織図には、学校に関わる人材が明記され、自己の組織上の位置づけを誰もが理解できるようになっている。そして、この組織図に基づいて、適切に意思決定がなされている。決定項目によって、事務局長、教務部長、キャリアセンター室長、学科長、主任等への更なる権限委譲を図り、より効率的かつ迅速な意思決定を行う。			

<p>3 教育活動</p>	<p>1. 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか</p> <p>2. 学科ごとの修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか</p> <p>3. 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか</p> <p>4. 教育課程について、外部の意見を反映しているか</p> <p>5. キャリア教育を実施しているか</p> <p>6. 授業評価を実施しているか</p> <p>7. 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか</p> <p>8. 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか</p> <p>9. 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか</p> <p>10. 資格・免許取得の指導体制はあるか</p>	<p>4</p>	<p>1. 「職業人教育を通して社会に貢献する」という滋慶学園グループのミッションの下、建学の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」に基づいて教育課程編成方針・実施方針を定め、DXの導入など業界の変化を考慮した教育を行っている。</p> <p>2. 学科ごとに教育到達レベルを明確に設定し、それを学生便覧及び教育指導要領に記載するとともに、HPIにもアプしている。加えて、すべての科目のシラバスをHPIにて公開している。</p> <p>3. 滋慶学園グループ五カ年計画のもと作成する学校全体の事業計画に基づいて、教務部としての事業計画を立案し、養成目的と到達目標を明確にし、それに沿った教育課程を編成し、計画的に教育を行っている。一方、教育内容の充実に伴い授業時間数が増加した学科もあり、カリキュラム改正を実施し適正化を図ると共により良い教育課程編成に努めている。</p> <p>4. 業界のプロである講師からの情報やキャリアセンタースタッフによる企業訪問、教務スタッフによる実習巡回に加え、教育課程編成委員会等を最大限活用して、業界のニーズを的確に捉え、その変化に対応して養成目的や教育目標、カリキュラムの改善を常に実施し、イノベーションを図っている。</p> <p>5. 実学教育として技術・知識を身に付ける「専門職業教育」に加え、人間教育として職業観・勤労観や仕事に対する身構え・気構え・心構えを身に付ける「キャリア教育」双方を兼ね備えたバランスの良い職業人教育を行っている。具体的には、キャリア教育をすべき9つの能力(主体性・働きかけ力・実行力・課題発見力・計画力等)を学科別キャリア教育マップとして作成実践している。このキャリア教育は、授業、実習、就職、イベント、生活指導などあらゆる機会を捉えて実施しており、学生支援会議や教務会議等を通して更なる充実に努めている。</p> <p>6. 年2回、学生に授業アンケートを実施し、授業評価を行いながら学生の授業に対する満足度の把握・向上に努めている。加えて、1年生担任座談会などを定期的に開催して、今後にも必要な対策を実践していく。</p> <p>7. 成績評価や進級・卒業認定基準は学則で明確に決められており、それを学生便覧及び教育指導要領に記載して、学生、教職員、講師に周知徹底している。そして、進級判定会議や卒業判定会議を通して、適切に運営されている。試験規定の見直し等も随時行っている。</p> <p>8. (評価対象外項目)</p> <p>9. 目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけられており、それを学校パンフレット、学生便覧、教育指導要領等に明記し、学生・教職員・講師に周知している。</p> <p>10. 滋慶学園グループには、国家試験対策を包括的、科学的、体系的に支援する国家試験対策センターがある。加えて、学校独自で補習、個別指導、グループ学習などを実施している。また、学力を可視化することにより客観的な視点を持ち、一人ひとりの能力に合わせて指導・対策を行っている。更には既往の同</p>	<p>本校では、職業教育のアプローチとして、3つに時期を捉え、入学前のキャリア形成から、在学中のキャリア設計、卒業後のキャリア開発まで学生の育成・成長にフローで関わり、一人ひとりを大切に教育を行っている。</p> <p>①キャリア形成 入学前の時期に、オープンキャンパスやマイスクールを通して、基盤となる勤労観・職業観の形成と確立をする時期。</p> <p>②キャリア設計 在学中は、専門職業に就くプロセスの設計と能力の習得をする時期。</p> <p>③キャリア開発 卒業後は、卒業教育等を通して、社会・職業人への移行と更なるキャリア開発をする時期。</p> <p><滋慶学園グループの各種組織・システム> ① 滋慶教育科学研究所 ・キャリア教育部会(カウンセラー委員会 進路変更委員会 その他) ・専門教育部会(教育分科会 産学連携委員会 FD委員会 その他) ・国際教育部会 ・教育分科会 ② 滋慶教育科学研究所 国家試験対策センター ・J-web(国家試験対策e-ラーニングシステム)等 ③(株)国際教育社 ILC国際語学センター(外国語教育担当部門)</p> <p><新型コロナ感染症への対応> ①新型コロナ感染症5類移行に伴い、万全の感染対策を施しながら対面授業を基本として実施している。 ②臨地実習や業界研修についても、病院や企業と調整の上でできる限り実施している。</p> <p><その他の教育> ①ITリテラシー教育 インターネットやSNSにおけるトラブルや被害から学生を守るため、毎年継続的にITリテラシー教育を行っている。 ②AzureAI試験</p> <p><卒業生対象教育制度> ①卒業後教育制度 ②聴講生制度 ③卒業生対象国家試験対策リスタートセンター</p>	<p>4</p>	<p>・卒業教育は業団としても力を入れなければならない項目である。<鍼灸></p> <p>・学校と業団と共に協力して行ければ卒業生の力になれると思う。<鍼灸></p> <p>・国家試験は一通過点なので、その後の経験値が未来を左右する。<鍼灸></p> <p>・時代が変化する中でしっかりと現代を見つめられていると感じる。<救急></p> <p>・しっかりと授業評価され、更に前進してほしい。<救急></p> <p>・教育活動をしていくうえで、インターネットやSNSを使っていくことは当たり前だが、上手に使えている学生とそうでない学生がいる。人生経験や社会経験が少ないと悪い方になってしまう学生もいるため、指導が必要だと感じる。<理学></p> <p>・IoTやAIの導入。リハビリにおいてはARやVR技術を用いた授業が活発に行われていると聞いたが、現場ではまだまだ追いついておらず、学生が就職した際にかかりされないよう我々も努力していかねばと感じた。<作業></p> <p>・ネットリテラシーについて、若年層は教育をされていてしっかりしているが、教育が行き届かない中高年層がストレスのはげ口として心無い書き込みをしたりと問題に感じている。<作業></p> <p>・授業評価はとても良いと思う。<保護者></p> <p>・授業に追いついてるか追いついてない学生の把握もできると思う。<保護者></p> <p>・その他の教育でも、学校外の指導として頂けると預けている保護者としては安心できる。<保護者></p> <p>・キャリア開発。卒業後、年に何人ぐらいの方が卒業教育受けられるのかで卒業生></p> <p>・学生の目的意識を形成することは大変重要であり、適切になされている。<スポーツ></p> <p>・課題を与えレポートを提出してもらっているが、こちらが求めているものが出てくるし、決して押し付けになっていないと感じる。社会に出た時に社会人として役に立つことだと思う。<スポーツ></p> <p>・学生アンケートは大変有難い。学生が求めているものが明確になるので有効な手段と思う。<スポーツ></p> <p>・AIの積極的活用はこれから必要と思われるので、具体的な取組が知りたい。<薬業></p> <p>・診療報酬改定で医療DX推進がある。一般職員のITリテラシーの低さが医療DXが進まない要因の1つでもある。教育現場でITについて学ぶ環境を用意されていることに感謝している。<看護></p> <p>・授業アンケートの実施をこれまでより強化している点は学生にとっても利益になると思う。また講師側からしてもその方が有益と思われる。それが中途退学や国家試験不合格を阻止することに繋がるのではないと思う。<歯科></p>																																																																						
<p>4 教育成果</p>	<p>1. 就職率の向上が図られているか</p> <p>2. 資格・免許の取得率の向上が図られているか</p> <p>3. 卒業生の社会的評価を把握しているか</p>	<p>3</p>	<p>1. 就職率 2023年度生 2024年4月30日現在実績 就職希望者:298名 就職者:294名 就職率:98.7% 就職100%達成予定:2024年5月末日</p> <p>2-1. 国家試験合格率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受験者</th> <th>合格者</th> <th>合格率</th> <th>全国平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柔道整復師</td> <td>47</td> <td>33</td> <td>70.2</td> <td>84.0</td> </tr> <tr> <td>はり師</td> <td>49</td> <td>44</td> <td>89.7</td> <td>85.8</td> </tr> <tr> <td>きゅう師</td> <td>49</td> <td>45</td> <td>91.8</td> <td>86.2</td> </tr> <tr> <td>救急救命士</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>100</td> <td>97.0</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>61</td> <td>60</td> <td>98.3</td> <td>95.2</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>93.3</td> <td>91.3</td> </tr> <tr> <td>歯科衛生士</td> <td>35</td> <td>31</td> <td>88.6</td> <td>95.1</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>35</td> <td>32</td> <td>91.4</td> <td>93.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>2- 2その他資格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受験者</th> <th>合格者</th> <th>合格率</th> <th>全国平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康運動実践指導者</td> <td>23</td> <td>13</td> <td>56.5</td> <td>61.7</td> </tr> <tr> <td>アスレティックトレーナー(筆記試験)</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>11.1</td> <td>非公開</td> </tr> <tr> <td>登録販売者</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>84.6</td> <td>43.7</td> </tr> <tr> <td>ヘルスケアアドバイザー</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>96.0</td> <td>非公開</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 卒業生の社会的評価につきましては、2022年度に実施したが2023年度は行っていない。今後は毎年実施できるよう努めたい。なお、2022年度の結果は以下のとおりである。過去3年分の就職先へ在職調査を実施。515社へ郵送し219社より回答があり、回答率は43%。滋慶学園グループの就職システムへ情報を入力。在職者462名のうち1年目の離職者が6名(1.3%)で3年目の離職者が16名(3.5%)、トータル22名(4.8%)。在校時より職業観・勤労観を育むことが重要。</p>		受験者	合格者	合格率	全国平均	柔道整復師	47	33	70.2	84.0	はり師	49	44	89.7	85.8	きゅう師	49	45	91.8	86.2	救急救命士	21	21	100	97.0	理学療法士	61	60	98.3	95.2	作業療法士	15	14	93.3	91.3	歯科衛生士	35	31	88.6	95.1	看護師	35	32	91.4	93.2		受験者	合格者	合格率	全国平均	健康運動実践指導者	23	13	56.5	61.7	アスレティックトレーナー(筆記試験)	18	2	11.1	非公開	登録販売者	13	11	84.6	43.7	ヘルスケアアドバイザー	25	24	96.0	非公開	<p><定性目標> ①即戦力としての実践力を身に付ける。 ②人間力を身に付ける(仕事に対する身構え・気構え・心構え)。 ③組織の中で力を発揮する為のコミュニケーション能力を身に付ける。 ④プレゼンテーション能力を身に付ける。 ⑤チームとして仕事をする為のチームワークとリーダーシップを身につける。 ⑥職業観・勤労観を確立する。</p> <p><就職> ①就職率100%(3/31)を目標とする。 ②第1専門職での就職。 ③ミスマッチによる早期退職の防止。 ※奨学金貸与学生に対しては、余裕をもって返済可能な収入を確保できる就職先の斡旋に努めている。</p> <p><資格取得> ①滋慶学園JESC国家試験対策センターと連携した国家試験対策を実施している。 ②本校独自に国家試験対策会議を実施し、成功事例の共有や適切な対策を行っている。 ③全体的な課題として、成績上位者と下位者の学力の差が大きい傾向にあり、成績下位者の学力を低学年より向上させる学習システムが必要である。また、新入生については、基礎学力が非常に低い、あるいは学習習慣が身につけていない学生もいることから、基礎学力の向上の取り組みに加え、生活習慣の改善及び学習習慣の確立に努めている。</p>	<p>3</p>	<p>・国家試験に固執すると、合格率だけに力を入れる学校も存在する。学生は不用な競争を強いられ、退学者を多く出す学校もあるので特に合格率のみに固執せず、今の教育方針を続けて欲しい。<鍼灸></p> <p>・就職先の環境の問題もあり、評価が難しい。<鍼灸></p> <p>・合格率も大切だが、学生とコミュニケーションをしっかりとっていくことが大切だと感じている。<鍼灸></p> <p>・学生の頑張りや評価のものと学校側のしっかりしたサポートを感じることができた。<救急></p> <p>・最低限、全国平均よりは合格率を上げて欲しい。<理学></p> <p>・作業療法士の受験者数が他学科に比べ毎年少ない様に見える。<作業></p> <p>・作業療法学科の入学者はどうすれば増えるのか。臨床からの発信力も必要だと思われる。<作業></p> <p>・進路先を先生方がちゃんと向き合ってくれることは良いと思う。<保護者></p> <p>・コロナが明けて、去年の合格率よりも上がっていると思った。<保護者></p> <p>・就職で「頑張る」「耐える」等の言葉が使いつらくなっている様に思う。合わなかったり、少し嫌なことがあったりすると、すぐにやめる、諦めることが多くなっている感じる。寄り添うことも必要であるが。<卒業生></p> <p>・就職率・国家試験合格率は経年推移で示していただけると分かりやすい。特に合格率は、その数値の中味、意味を知れば教育の課題が明確になると思われる。(多分、検討されていると思うが)<スポーツ></p> <p>・卒業後の在職調査は大変素晴らしいことだ。社会的信用も高まると思う。<スポーツ></p> <p>・合格率上昇に繋がるかわからないが、定期的に外部(企業等)の方と学生が交流を持てるプログラムがあっても良いかもしれない。<薬業></p> <p>・国家試験合格に向けて先生方のご尽力に感謝する。また就職のご支援では、病院と連携を図り、当院も大変助かっている。<看護></p> <p>・国家試験対策センターという滋慶学園グループの強みを生かし、しっかりサポートされていると思う。<歯科></p> <p>・国家試験の合格率について授業アンケートを強化しているとお話があったが、私立大学等では回数多く実施している。講義の度に実施している学校もある。年に2回の実施でなく、もっと回数を増やしていいのではないと思う。<歯科></p> <p>・就職はキャリアセンターを通して全国に対応できているのは素晴らしいと思う。<歯科></p> <p>・様々な人達を対応している職であり、人間力を導くことが必要であるとともに、国家試験が重要であるため、合格者の増が課題と思う。<地域></p>
	受験者	合格者	合格率	全国平均																																																																								
柔道整復師	47	33	70.2	84.0																																																																								
はり師	49	44	89.7	85.8																																																																								
きゅう師	49	45	91.8	86.2																																																																								
救急救命士	21	21	100	97.0																																																																								
理学療法士	61	60	98.3	95.2																																																																								
作業療法士	15	14	93.3	91.3																																																																								
歯科衛生士	35	31	88.6	95.1																																																																								
看護師	35	32	91.4	93.2																																																																								
	受験者	合格者	合格率	全国平均																																																																								
健康運動実践指導者	23	13	56.5	61.7																																																																								
アスレティックトレーナー(筆記試験)	18	2	11.1	非公開																																																																								
登録販売者	13	11	84.6	43.7																																																																								
ヘルスケアアドバイザー	25	24	96.0	非公開																																																																								

5	<p>1. 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか</p> <p>2. 退学率の低減が図られているか</p> <p>3. 学生相談に関する体制を整備しているか</p> <p>4. 留学生に対する相談体制を整備しているか</p> <p>5. 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか</p> <p>6. 学生の健康管理を行う体制を整備しているか</p> <p>7. 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか</p> <p>8. 課外活動に対する支援体制を整備しているか</p> <p>9. 保護者との連携体制を構築しているか</p> <p>10. 卒業生への支援体制を整備しているか</p> <p>11. 産学連携による卒業後</p>	3	<p>1. 就職については就職を専門とするキャリアセンターが担当し、学内で実施する合同企業説明会、就職ガイダンス、就職出陣式などの就職イベントの実施をはじめ、求人獲得、履歴書指導、面接指導、業界情報の収集およびフィードバックなど様々な支援を行っている。また、卒業式までに就職が決まらない場合でも、全員の就職が決まるまで卒業後も支援を続けている。合わせて、卒業後の転職・再就職も支援している。</p> <p>2. 本校は担任制度を敷いており、担任を中心にポートフォリオや個別面談等を駆使して一人ひとりの学生に対して細やかな支援を行っている。また、退学理由の分析や退学防止対策、成功事例などについて研修や勉強会を随時実施し担任力の向上を図ると共に、滋慶学園グループ独自の支援機関や支援制度を活用して退学率の低減に努めている。また、授業を理解し登校することが苦にならないようにするため「好きなことを仕事にする」を目標に目標達成シートを各学科で作成し取り組んでいる。退学率は学科によってばらつきがあるため、学生支援会議にてやるべきことの確認やベストプラクティスの水平展開など、学生満足度の向上を図っている。</p> <p>3. 担任による相談に加え、学生の相談支援機関として、滋慶トータルサポートセンター福岡を設置し、常駐のスクールカウンセラー(公認心理師・臨床心理士)がカウンセリングも実施している。</p> <p>4. 留学生に対する支援や相談を包括的に実施する機関として国際交流OOMがあり、その下に各地区に留学生担当を設け、担任と運動して留学生支援にあたっている。</p> <p>5. 経済的支援については、相談窓口として学費担当を設置するほか、学費や奨学金、教育ローン等についてのアドバイスをするファイナンシャルアドバイザー及び奨学金担当者を配置している。また、学費分割納入制度、留年時の学費を免除する長期履修制度、滋慶学園独自の滋慶奨学金など、様々な支援体制を整備している。また、コロナ禍における保護者の収入減等に併い、国や県の補助金を積極的に活用して支援をしている。</p> <p>6. 毎年1回、在校生の健康診断を実施している。また、健康支援として慶生会クリニックがあり、在学中の健康維持支援を行っている。診療科目は、内科、歯科で、治療費の自己負担はなく、薬代も返金される。また、新型コロナウイルス感染5類移行に伴い、感染予防対策も見直している。</p> <p>7. 6棟645名分の滋慶学園専用寮や学生食堂、駐輪場などを設置し、生活環境支援を行っている。</p> <p>8. 学生の課外活動であるクラブ活動について、コロナ禍にて部活動休止していたが2022年度より再開、2023年度より福岡県専修学校の大会も再開した。これに伴い、安全衛生委員会で危機管理マニュアルを作成し、部活動におけるけがや熱中症対策に取り組んでいる。</p> <p>9. 保護者との連携は定期的な成績報告・出席報告・保護者会の実施に加え、学生状況に応じて、担任が常に保護者と情報共有・連携・協力している。また、必要に応じて三者面談を行うなど保護者と連携した学生支援にあたっている。</p> <p>10・11. 卒業生に対する支援としては、定期的・継続的に卒業教育を実施すると共に、同窓会を実施し情報の共有を図っている。(2023年度同窓会は未実施)</p> <p>12. 社会環境の変化に応じて、常に学科、コース、教育内容等のイノベーションを図り、社会のニーズを踏まえた教育環境を整えている。</p>	<p><求人数> 2022年度 3,329企業 2023年度 2,818企業</p> <p><中途退学> 2022年度実績 在籍者:1,338名 退学者:104名 退学率:7.8% 2023年度実績 在籍者:1,393名 退学者:105名 退学率:7.5%</p> <p>①中途退学にいたる主な理由としては、目的意識の喪失、学力不足、対人関係等であった。</p> <p>②学生満足度向上強化学科(1年D07%or全体5%以上の学科)を2018年度から指定し中途退学の低減に努めている。</p> <p><2023年度留学生数> 3名(業業科1名・作業療法科2名)</p> <p>滋慶学園グループでは、「学生はゲスト」というコンセプトの下、学生満足の向上のため、様々な支援体制を整備している。</p> <p><主な支援機関> ① 滋慶トータルサポートセンター福岡 ② 医療法人慶生会 慶生会クリニック(内科・歯科) ③ 慶生鍼灸院 ④ キャリアセンター ⑤ 滋慶学園専用寮(スチューデントハイム・アソシエイト) ⑥ 学生食堂(滋慶レストラン) ⑦ 学費担当・奨学金担当 ⑧ ファイナンシャルアドバイザー ⑨ 進路変更委員会 ⑩ 国際交流COM</p> <p><主な支援制度> ① 進路変更制度 ② 長期履修制度 ③ 学費分割納入制度 ④ 滋慶奨学金 ⑤ 担任制度 ⑥ 聴講生制度 ⑦ 卒業後教育制度 ⑧ 既修得単位認定制度</p> <p><その他> ①各種クラブ活動 ②駐輪場の整備 ③高等教育修学支援新制度の対象機関として認定 ④DX化に伴い、TEAMSなどの有効活用</p>	3	<p>・学生への各種支援制度が充実していると感じる。<鍼灸> ・進路変更制度や長期履修制度は、あまり他の学校ではない制度だと思う。<鍼灸> ・小・中学生の不登校児が多く社会全体の問題である。医健の退学率が7.5%であるが、その様な環境の中で育った世代なのでいたしかないのかも知れない。<鍼灸> ・今後の学校の教育方針に期待する。<鍼灸></p> <p>・目的意識の喪失や対人関係については、学園側もしっかりとサポートしていく中で改善されると思う。<救急> ・救急救命士として本年度福岡和白病院に就職してもらった。最初は学生感が抜けなかったが徐々に抜けてきて、今はしっかり頑張っていてくれて、看護部長からも高い評価をもらっている。<救急></p> <p>・現実問題として、退学者を減らすことは難しいと思うが、今後に期待する。<理学> ・就職後の早期離職がとて多しと感じている。一週間、ゴールデンウィーク明け、1年とそのタイミングで辞める人がとて多い。現場でもしっかり指導していくが、学校でも指導を行って欲しい。<理学></p> <p>・中途退学は悪いことではないように思う。<作業> ・目的意識喪失のまま臨床に出た場合、一番困るのはやはり患者であると思う。<作業> ・早期から見切りをつけ、自分に合った道を選んでもらうのはその学生のためでもあると思う。<作業></p> <p>・学生に対しての支援は充実していると思う。保護者としては安心している。<保護者> ・保護者代表として学校関係者評価委員会に参加させていただくと、学校の取組みや広報活動のことがよく知れて、よくして頂いていると感じた。<保護者> ・インスタグラムをよく見ているが、学科で行ったことを紹介するのもいいが、保護者向けの告知やお知らせがあってもいいのかなと思う。様々なイベント等への取組みを見ると、学校としての意気込みを強く感じる。<保護者></p> <p>・退学理由の対策が求められる。「夢」を持ち続けてもらえるfollow体制として担任制を敷いておられ、コミュニケーションを取られていると思われる。今もう一歩踏み込んでいただき、一人でも少なくなる様に努めていただきたい。<スポーツ></p> <p>・中途退学者においては、グループ校の他の科目への転籍など動める等もあって良いのではないかと考える(おそらく行われていると思う)。<薬業> ・学力不足などはAIなどを活用し細やかな対策を打つことも必要かと思う。<薬業></p> <p>・退学者がある一定数いるのは致し方ない場合もあるのではないかとと思う。一方で退学者(退学率)に対して、その後の対策等、健全に取り組んでおられることは評価に値すると思う。<看護> ・日本看護協会では、自己研鑽の部分で継続教育から生涯教育に言葉が変わり支援していこうとなり、看護学生は実習に行く際に目標シートを必ず持参する。自分の思考を文字にすることで、受け入れ側もとても支援しやすい。受動的に学ぶのではなく、能動的に学ぶように取り組んでいる。私たちが支援する側として学生の対応にあたっていききたいと思う。<看護></p> <p>・学生サポート体制として、学生寮やクリニック、カウンセリングセンターを設けておられ、学生にとって心強いと思う。<歯科> ・中退は少子化で社会構造上仕方ない側面もあると思う。中退について授業アンケートを強化しているとお話があったが、私立大学等では回数多く実施している。講義の度に実施している学校もある。年に2回の実施でなく、もっと回数を増やしていいのではないかとと思う。<歯科></p> <p>・うまくいかなかったときに諦める学生がいとを感じる。サポートが難しい<卒業生> ・学生サポートは年々手厚くなっていると思う。<卒業生></p> <p>・昨今合理的配慮という言葉をよく耳にする。医健では、どの位の方が配慮を必要としていて、どのような対応をされているのか。<卒業生> ⇒⇒⇒<河川教務部長>これまでに耳が聞こえにくい学生1名を配慮した。読唇術で理解できる学生であったので、コロナ禍だったが通常の白マスクから透明な口元が見えるマスクに変えて先生には講義を行って頂いた。また今年度からは入学前に入学後要配慮相談シートを送り、事前に相談できるようにした。個人情報の観点から実際の配慮人数は申し上げることはできないが、発達障害の診断がされている方もいた。人数が増えたというより、そういう方が見える化してきたと感じている。入学いただいたからには学校としてできることはやっていきたいと思っている。滋慶トータルサポートセンターカウンセラーとの連携や、週1回学校にスクールカウンセラーの先生に常駐していただき、希望する学生のカウンセリングを行っている。また我々教員側も研修を行い、どのように対応していくべきか勉強を重ねている。</p>
6	<p>1. 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか</p> <p>2. 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施制度を整備しているか</p> <p>3. 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか</p> <p>4. 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか</p>	4	<p>1. 施設・設備・機器類などについては、設置基準及び関連法規に全て適合しているだけでなく、その目的を達成するために必要な最新の施設・設備を揃え、常に万全の状態でも活用できるように定期点検・維持管理を行っている。また、より快適な学びの環境を整えるため、教室・実習室・階段等の改修、机・いすの買い替え、PCルームのPCの入れ替え、壁紙の張替えなどを実施した。</p> <p>2. 即戦力としての技術・知識・実践力を身に付けさせる為に、多岐に渡る様々な実習先の開拓を常に行い、臨地実習・学外実習・海外研修等の実施体制を整備して。また、卒業進級発表会も全学科参加で実施した。※コロナ感染症拡大の影響で海外実学研修を中止していたが、2023年度より再開した(アメリカ・LA)。</p> <p>また、それぞれの業界のプロとして、現場経験豊富で高い技能を有した優秀な人材を常に発掘して、講師として就任して頂いている。</p> <p>3. 防災計画を策定し、それに基づいて防火管理者を始めとして防災組織体制を構築している。また、年2回の避難誘導訓練(春:火災を想定 秋:地震及び津波を想定)を実施すると共に、ゲリラ豪雨や竜巻、地震など異常気象に備えて、学生の危機意識の確立を図って安全確保に努めている。2023年度は、教員のみ避難誘導指導訓練を初めて開催(夏)し、通報時に必要な情報をサインボードに通信場所(事務局、教務室)に設置予定。今後はAED講習ややすまた講習なども再開予定。</p> <p>4. ガードマンが常駐し、館内警備にあたり、安心安全な教育環境を学生に提供するために、自転車安全講習、薬物乱用防止講習、悪徳商法被害防止講習、女性犯罪被害防止講習など様々な安全講習を実施している。</p> <p>校内の整理・整頓・清掃・整備を徹底し、学生が気持ちよく最善の環境で勉強できるよう、常に万全の体制を整えている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したが必要な範囲内で十分な対策を継続して実施し、引き続き感染予防に努めている。</p>	<p>滋慶学園グループには、滋慶教育科学研究所(JESC)をはじめとして、教育環境をサポートする企業・組織が多く存在し、グループ総力を挙げて教育環境の整備にあたっている。</p> <p><サポート企業・組織の一例> ① ジケイ・スペース㈱ ② DUCE ③ 株ブレインスタッフコンサルタンツ ④ 株国際教育センター VISTA ARTS ⑤ 西部建設㈱</p> <p><その他> ① ガードマンの配置による安全確保 ② 緊急時安否確認システムによる学生の安全確保の推進</p> <p><安全衛生委員会> 安全衛生委員会を組織。「危機管理対応マニュアル(学内への不審者の侵入、学校管理下の事故・ケガ等)」「新型コロナウイルス感染対策マニュアル」を作成し、万全のリスクヘッジ及びリスクマネジメントに努めている。</p>	4	<p>・十分な取組と思う。<鍼灸> ・今後とも改善点があれば改善し、益々良い環境を作られることを期待する。<鍼灸></p> <p>・この地区で災害が発生した時に活動できる強い防災力を期待している。<救急> ・地域にも安心を提供してほしい。<救急></p> <p>・十分な環境下で教育できていると思う。<理学></p> <p>・コロナは終息したが、病院での面会制限などは引き続き継続されている。現在、東京・大阪では麻しんが流行しており、いつ福岡に広がってもおかしくない状況である。感染症は形を変えてはやり続けるものなので、細やかなマニュアルは必要であると思われる。<作業></p> <p>・常に見越して色々な行っているということは良いと思う。<保護者> ・コロナが移行したことによって研修や実習が幅広くなっていくと学生たちに色々な選択肢が出て来て良いと思う。<保護者></p> <p>・環境を整えることは学生のモチベーションの維持、向上にもつながるし、学生募集にも大切だと思う。<卒業生> ・防災などのリスク管理マニュアルがあれば集団で動きやすく対応しやすいと思う。<卒業生></p> <p>・しっかりと学生のことを考えられて、環境作りを実施されている。<スポーツ> ・コロナ禍等の外部環境による海外留学研修が再開されたので、今後の成果に期待したい。<スポーツ> ・安全衛生委員会におけるマニュアル作成も随時updateされていくことを期待する。<スポーツ></p> <p>・医療関係との繋がりも多いので、マニュアル作成時には産学連携で作成するのも良いと思う。<薬業></p> <p>・色々な看護学校に行かせて頂いているが、医健は学校から出る“気”がとても気持ち良い。とても開けた気を感じる。それは、教育環境の細やかな部分で配慮されている結果だと思う。<看護></p> <p>・近年自然災害は観測史上最大という文言を冠することが急増している。その対策にもっと訓練等で取り組まれ、マニュアルも作成されており、素晴らしいと思う。<歯科></p>

<p>7 学生 の 募 集 と 受 け 入 れ</p>	<p>1. 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか</p> <p>2. 学生募集を適切かつ効果的に行っているか</p> <p>3. 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか</p> <p>4. 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか</p> <p>5. 経費内容に対し、学納金を算定しているか</p> <p>6. 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取り扱いを行っているか</p>	<p>4</p>	<p>1. 高等学校等への情報提供窓口として専任の担当者を設けている。また、定期的・継続的に高校訪問を実施しているほか、各種媒体、入学案内パンフレット、各種ガイダンス、オープンキャンパス、ホームページや各種SNSなどを活用して、適宜適切に正しい情報をの提供に努めている。</p> <p>2. 本校は、福岡県専修学校各種学校協会に加盟し、高等学校と同会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容を遵守している。</p> <p>また過大な広告を一切廃し、必要な場合は根拠数字を記載するなど、適切な学生募集を行うように配慮すると共に、広告倫理委員会を設置し、適切に広報活動が行われているかをチェックしている。</p> <p>3. 入学資格、出願方法、選考日程、選抜科目等の入学選考基準を学生募集要項に明示するとともにホームページにもアップしている。これに基づいて入学選考を行い、「入学選考会議」により可否を決定している。なお、本校における入学選考は、学生募集要項にも明示している通り、「面接」及び「作文」「調査書」による書類選考であるが、その基準となるのは、「目的意識」である。将来目指す業界への職業意識や具体的な目標がしっかりしているかを確認すると共に、その目的が本校より提供する教育プログラム及びびカリキュラムにおいて実現可能かを確認するものである。ただし、看護科に於いては、それらに加えAO入学及び高等学校推薦入学は「小論文」、一般入学は「現代文」「数Ⅰ」の筆記試験を行なっている。</p> <p>4. 入学選考に伴う面接や高等学校調査書において収集した情報・実績を把握・活用し、授業改善に努めている。また、高校生の動向を探るために専門業者と連携し、各学科の人気度の把握に努める。学校全体で行うアンケートの集約には時間がかかる為、Googleフォームでアンケート調査を行い、授業開始時期に間に合うスケジュールで入学者の傾向把握を行っている。</p> <p>5. 学校納付金については、事業計画に基づいて経費内容を十分に吟味・考慮の上、適正に設定されている。</p> <p>6. 入学辞退者の授業料等については、3月31日までに入学辞退の申し出があった場合は、入学金を除き学費等を全て返還している。しかし、4月1日以降は、最高裁の判例に基づき、海外研修積立金などの預り金以外は、返金できない。また、このことは、学生募集要項に於いて、「学費一覧」ページに明記している。</p>	<p>本校の広報活動は、入学前のキャリア形成の時期と捉え、オープンキャンパスを通して、自己発見をすると共に、基礎となる職業観・勤労観を確立してもらうことを目的としている。よって、入学前に職業イメージをどれだけ明確に持っているかが大切と考え、オープンキャンパスや説明会への複数回の参加を促し、本校及び目指す職業を充分理解し、疑問を解消した上で出願してもらうことを心がけている。そのためにも、高校や会場で行われるガイダンスに加え、ホームページを中心に様々なSNSを有効に活用して、入学希望者が求める情報を適時適切に提供できるよう図っている。</p> <p>また、救急救命公務員科については、業界ニーズ及び入学希望者の状況を考慮して、2024年度入学生より定員を35名から40名に増員した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4"><2024年度新入生></th> </tr> <tr> <th>学科</th> <th>新入生</th> <th>定員</th> <th>充足率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柔道整復科</td> <td>90名</td> <td>90名</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>鍼灸科</td> <td>68名</td> <td>60名</td> <td>113.3%</td> </tr> <tr> <td>救急救命公務員科</td> <td>39名</td> <td>40名</td> <td>97.5%</td> </tr> <tr> <td>理学療法科</td> <td>79名</td> <td>80名</td> <td>98.8%</td> </tr> <tr> <td>作業療法科</td> <td>19名</td> <td>40名</td> <td>47.5%</td> </tr> <tr> <td>薬業科</td> <td>18名</td> <td>40名</td> <td>45.0%</td> </tr> <tr> <td>歯科衛生士科</td> <td>39名</td> <td>40名</td> <td>97.5%</td> </tr> <tr> <td>看護科</td> <td>26名</td> <td>40名</td> <td>65.0%</td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学科</td> <td>96名</td> <td>80名</td> <td>120.0%</td> </tr> <tr> <td>スポーツマネジメント</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>テクノロジー科</td> <td>16名</td> <td>20名</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>490名</td> <td>530名</td> <td>92.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2023年度新入生入学実績：503名 昨年の定員充足率95.8%から若干低下しており、学科によって定員充足率にばらつきがあるため、定員充足率を高めるための更なる取り組みを行う必要がある。特に、作業療法科と薬業科は定員の充足率が低い状況である。それぞれの職業に対する高校生の認知度が低いことが大きな要因と考えられるが、業界からの人材ニーズは高いだけに、募集活動の強化を図りたい。また、スポーツマネジメントテクノロジー科については、学科新設から2年が経過して学科の認知度が徐々に高まり2024年度の新入生も順調に伸びている。来年度は定員充足率100%を目指したい。</p>	<2024年度新入生>				学科	新入生	定員	充足率	柔道整復科	90名	90名	100%	鍼灸科	68名	60名	113.3%	救急救命公務員科	39名	40名	97.5%	理学療法科	79名	80名	98.8%	作業療法科	19名	40名	47.5%	薬業科	18名	40名	45.0%	歯科衛生士科	39名	40名	97.5%	看護科	26名	40名	65.0%	スポーツ科学科	96名	80名	120.0%	スポーツマネジメント				テクノロジー科	16名	20名	80.0%	合計	490名	530名	92.5%	<p>4</p>	<p>・オープンキャンパスやガイダンスが行われることによって、学校の内見が分かると思う。それによって、進路が決めやすくなるので良いと思う。<保護者></p> <p>・高等学校はもちろんのことであるが、小中学校の学生にも興味を持たせてみるのも良いのでは。<救急></p> <p>・高等学校は方向性を決めているのでは。<救急></p> <p>・少子化の中で、これだけの新入生が入学してくることは素晴らしい。<理学></p> <p>・全体の充足率は92%以上あるが、その反面作業療法科・薬業科のニーズは低いままなのが気になる。学科のみの責任ではなく、業界全体の取組が必要(大規模なSNSやマスコミを利用したアドバイザーやマネジメント等)と思われる。<作業></p> <p>・生産年齢人口の減少により、新入生の確保にもご尽力されていると思う。ありがとうございます。<看護></p> <p>・少子化の影響は現在あるのか。<卒業生></p> <p>・高校訪問等での事前に学校の情報を丁寧に説明されている点は評価したい。<スポーツ></p> <p>・充足率を上げる為、高校生だけでなく中学生や小学生への仕事アピール、認知度アップを図っていくことも必要かもしれない。<薬業></p> <p>・Instagram・TikTok・YouTube等Z世代に対する広告の打ち方を再度検討していただくことも必要かと思う。<薬業></p> <p>・薬業科の定員充足率が半数を切っている。少子高齢化もあり厳しい時代だが、小中学生の頃から仕事を知ってもらい、憧れもらえるような取り組みを行うこともいいかと思う。<薬業></p> <p>・定員割れは高校への訪問等で対策したり、オープンキャンパスを数多く開催するなど対応しているが、少子化を踏まえてさらに積極的にアプローチが必要かもしれない。<歯科></p> <p>・入学者の定員については、18歳人口の減少を考えると、どうしても学生の売り手市場になっていると感じる。今後ますます厳しくなると思う。<歯科></p> <p>・学科により定員の格差があり、今後の対応をどう考えるのか期待したい。<地域></p>
<2024年度新入生>																																																														
学科	新入生	定員	充足率																																																											
柔道整復科	90名	90名	100%																																																											
鍼灸科	68名	60名	113.3%																																																											
救急救命公務員科	39名	40名	97.5%																																																											
理学療法科	79名	80名	98.8%																																																											
作業療法科	19名	40名	47.5%																																																											
薬業科	18名	40名	45.0%																																																											
歯科衛生士科	39名	40名	97.5%																																																											
看護科	26名	40名	65.0%																																																											
スポーツ科学科	96名	80名	120.0%																																																											
スポーツマネジメント																																																														
テクノロジー科	16名	20名	80.0%																																																											
合計	490名	530名	92.5%																																																											
<p>8 財 務</p>	<p>1. 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか</p> <p>2. 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか</p> <p>3. 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか</p> <p>4. 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか</p> <p>5. 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか</p> <p>6. 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか</p>	<p>4</p>	<p>1. 毎年5か年の事業計画を作成し、中長期的視点で5か年の収支予算を立てており、財務基盤は安定している。</p> <p>2. 5か年計画及び単年度事業計画に基づいて、滋慶学園本部、法人本部、学校がそれぞれの立場から財務分析を行っている。</p> <p>3. 5か年の予算は、中長期を見越した新学科構想、施設・設備構想、人員構想等を考慮して支出を計画し、将来の学生数等を鑑みながら収入を予測し、収支計画を作成している。</p> <p>4. 適切かつ適正な予算管理を行うため、費用対効果を十分に考慮した効率的な予算執行を行うと共に、予算の執行・消化状況を毎月チェック・管理している。また、一旦作成した予算であっても現実と乖離した場合は、当初予算を修正する必要がある。その為、短期予算においては、半期が終了した段階で修正予算を組み、中長期予算においては、毎年編成をしない。</p> <p>5. 学園本部の機能として二重チェックの体制となっており、学校の財務体制をしっかり管理し、健全な学校運営が出来ている。</p> <p>また収入と支出のバランスは、理事会で毎年確認されている。</p> <p>さらに、監査は私立学校法上義務付けられている「監事監査」のほか、「公認会計士による監査」も受けている。</p> <p>6. 私立学校法に基づいて、ホームページで財務情報を公開している。現在は、令和4年度財務情報を記載しているが、決算理事会終了後の2024年6月末を目途に、令和5年度財務情報に更新予定。</p>	<p>本校が属する学校法人滋慶学園の財務情報公開に関しては、下記の通りとなっている。</p> <p><組織体制></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法人統括責任者 2. 学校統括責任者 3. 学校事務担当者 <p><公開資料></p> <p>1. 財産目録</p> <p>2. 貸借対照表</p> <p>3. 資金収支計算書</p> <p>4. 事業活動収支計算書</p> <p>5. 監査報告書</p> <p><閲覧場所></p> <p>法人本部</p>	<p>4</p>	<p>・ホームページ上で確認でき、監査報告書も添付されているので問題ないと思う。<鍼灸></p> <p>・しっかりした財務関係でよろしいと思う。<救急></p> <p>・定員100%の新入生と現状との差額が気になる。<救急></p> <p>・特に問題なく財務はできていると思う。<理学></p> <p>・HP上で公開しており、透明性が保たれていると思う。<作業></p> <p>・体制がしっかりしているので良いと思う。<保護者></p> <p>・5か年計画に基づき、順調に推移している。<スポーツ></p> <p>・財務管理は適切に適正になされていて問題ないと思う。<スポーツ></p> <p>・財務に関する情報をホームページで公開されており、5か年計画に基づき健全運営がうかがえる。<歯科></p>																																																								

<p>9 法令等の遵守</p>	<p>1. 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか</p> <p>2. 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか</p> <p>3. 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか</p> <p>4. 自己評価結果を公表しているか</p> <p>5. 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか</p> <p>6. 学校関係者評価結果を公表しているか</p> <p>7. 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか</p>	<p>4</p>	<p>1. 法令や設置基準の遵守に対する方針は、滋慶学園グループとして明文化され、法令遵守に対応する体制は整備できている。また、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めると共に、現場に於いては、ガバナンスを十分に利かせた学校運営を行っている。そして、学校運営が適切かどうかは、次の各調査等を通してチェックし、法人理事会のもとにコンプライアンス委員会が判断している。</p> <p>①学校法人調査 ②自己点検・自己評価 ③学校基本調査 ④専修学校各種学校調査 ⑤学校施設認定規則に基づく報告</p> <p>2. 資料請求者、在校生、卒業生、教職員、講師、実習先など学校が保有する個人情報、個人情報保護法に基づいて、厳格に管理・保護されている。また、学生、教職員、講師は、毎年ITリテラシーテストを受けて、個人情報保護及びインターネットやSNSでのトラブルに係る知識の充実を図っている。</p> <p>3. 4. 毎年、自己評価・自己点検を実施し、その結果をホームページ等で公開している。</p> <p>5. 6. 学校評価規定に基づき学校関係者評価委員会を組織し、自己評価・自己点検を基に外部委員による学校関係者評価を行い、その結果をホームページ等で公開している。</p> <p>7. 情報公開規定に基づき、あらゆる教育情報をホームページ、各種SNS、学校パンフレット、オープンキャンパスなど様々な方法で随時公開している。</p>	<p><法令順守に係る組織体制・システム></p> <p>(A)組織体制 ①財務情報公開体制(学校法人) ②個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③広告倫理委員会(滋慶学園グループ)</p> <p>(B)システム(管理システム) ①個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ②建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③防災管理システム(滋慶学園グループ) ④部品購入棚卸システム(滋慶学園グループ) ⑤コンピュータ管理システム(COMグループ)</p> <p>学内にコンプライアンス委員会を設置し、厳格なコンプライアンスの遵守に努めている。委員長は、統括責任者である法人の運営部長が就任し、委員は学校の現場責任者である事務局長と実務責任者の教務部長等で構成される。</p> <p>主な任務は、行動規範・コンプライアンス規程の作成、コンプライアンスに関する教育・研修の実施、コンプライアンス抵触事案への対応及び再発防止対策の検討・実施、コンプライアンスの周知徹底のための啓蒙活動の推進である。</p> <p>監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。</p>	<p>4</p>	<p>・法令順守についてホームページで公開されるなど、適切に処理されていると思う。<歯科></p> <p>・インターネットやSNS等のトラブルが多い中で安全に管理されていると思う。<救急></p> <p>・学校側がしっかりと実施していると思う。<保護者></p> <p>・今後もコンプライアンスの徹底をよろしく願いたい。<理学></p> <p>・現在若年層はネットリテラシー等の教育が盛んであり安心している。<作業></p> <p>・中高年によるリテラシー崩壊が不安である。教育を受ける場もないため、法による取締りが厳格化していくものと思われる。<作業></p> <p>・学生個人にも気をつけてほしい。<救急></p> <p>・ITリテラシーテストは100%受けているのか。<卒業生></p> <p>・ガバナンスは適切に稼働されて運営がなされていると感じる。<スポーツ></p> <p>・構成する職員の人が、各々意識レベルが高く行動されるので、自然と学校全体の運営がスムーズになされている。<スポーツ></p> <p>・現状で問題ないと思う。<鍼灸></p>
<p>10 社会貢献</p>	<p>1. 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>2. 国際交流に取り組んでいるか</p> <p>3. 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか</p>	<p>4</p>	<p>1. 本校では例年、業界団体や企業、行政、高等学校等の教育機関、地域等とタイアップして行うスポーツイベント、障害者支援イベント、市民イベント、救護活動、救命講習、公園清掃、中学や高校での特別講義やスクールトレーナー活動など様々な取組を実施している。</p> <p>また、滋慶学園グループが推進する「地球温暖化防止対策」運動を通して、節電、冷房28度・暖房20度設定、階段利用促進(2アップ3ダウン)、ゴミ削減、資源有効利用などの取組を実施している。</p> <p>産学連携教育というコンセプトの下、日々の授業や実習等がそのまま社会貢献につながるような企画を増やし、社会・地域と学校・学生が、win-winの関係になるよう努めている。</p> <p>福岡市や区などの行政と連携し地域からの要望に応えることができる学科も出てきており、今後はそれらの効果を他学科にも周知し、学校全体として官学連携による社会貢献活動の更なる促進に努めていく。</p> <p>2. 国際交流や留学生支援を包括的に実施する機関として国際交流COMがあり、留学生支援を始めとして国際交流にあっている。滋慶学園福岡各校にも、様々な国から多くの留学生が入学しており、国を超えた交流イベントも積極的に実施している。</p> <p>3つの教育理念の一つに国際教育を掲げており、在学中から海外の文化に触れる機会を設け、十分な語学力や国際的な視野を養い、これからの社会や産業界をけん引できるグローバルな人材を育てている。</p> <p>スポーツマネージメントテクノロジー科では、1期生が2024年4月からのオーストラリア海外語学留学に向けて準備をしている。</p> <p>3. 学生の社会貢献並びにキャリア教育の一環として、学生のボランティア活動を奨励・支援している。学科によっては、単位認定条件を定め、ボランティア活動に参加した学生に対し、一定の基準を満たす者には特別単位を認定している。</p> <p>学校に届くボランティア依頼については、学内掲示に加えTEAMSなどを利用して学生全員が確認できるように体制を整え、興味がある学生が積極的にボランティア活動に参加できるよう取り組んでいる。</p> <p>新型コロナ感染拡大の影響で様々なイベントが軒並み中止となり活動機会が極端に減っていたが、2022年度から少しずつ各種イベント等も実施され始めた。2023年度においては必ずしも十分ではないにしろ、できる範囲で可能な限りの社会貢献は実施できたと考えている。</p>	<p>2023年度は新型コロナ感染症対策を行いながら、各種イベントの再開に合わせてできる範囲内で実施した。</p> <p>2023年度に実施した主な社会貢献活動は以下のとおりである。</p> <p>① 全国高等学校選抜自転車競技大会のメディカルサポート ② 金鷲旗柔道大会・玉竜旗剣道大会メディカルサポート ③ サニックスワールドユースラグビー大会メディカルサポート ④ 福岡マラソン車いす協議部門支援プロジェクト ⑤ 福岡城さくらまつり・人力車プロジェクト ⑥ 御供所公民館認知症カフェプロジェクト ⑦ 各種団体とタイアップして行う一部のイベント支援</p> <p>その他</p>	<p>4</p>	<p>・災害が多くなっている。災害支援などのボランティア活動も視野にいれると良いと思う。<鍼灸></p> <p>・今年10月26・27日は、福岡で日本鍼灸師会の全国大会が行われるので、学生・教員の参加をお願いしたい。学生にとっては、良い経験になると思う。<鍼灸></p> <p>・救護活動や救命講習を高く評価できる。<救急></p> <p>・ボランティアに対しての単位認定の必要はないと思う。ボランティアの意味がない。人の役に立ちたいという気持ちがボランティアだと思う。<救急></p> <p>・各種イベント参加は大変でしょうが学生のいい経験になるので、今後も多くの参加をお願いしたい。<理学></p> <p>・学生時代により多くの活動に参加することでイベントを開催するにあたってのプロセスがどれだけ大変なものかなどを体験するこそが即戦力につながるのではないかと考える。<作業></p> <p>・社会貢献や地域貢献を行うことは良いと思う。学生たちが学校外で学べることが沢山あると思うからである。<保護者></p> <p>・技術もコミュニケーションも人と交わることで成長していくと思う。<保護者></p> <p>・各種イベント、ボランティア活動には積極的に参加して欲しいと思う。学生である期間に多くの成功や失敗の経験をした人ほど即戦力になるのではないかと。<卒業生></p> <p>・SDGsに対する関心も高く、グループ全体で取組みをされているのは大いに評価したい。<スポーツ></p> <p>・地域との交流を深めることは、今後大事なポイントである。地域防災・地域防犯との観点でも非常に重要であると思われる。<スポーツ></p> <p>・地域とのコミュニケーション強化について今後考えていただきたいことは、専門の勉強だけではなく、地域貢献にも取り組む姿勢があると更に大きく成長できると思う。<スポーツ></p> <p>・ボランティア活動は人として成長に大きく関与すると思う。ボランティアを経験している学生とそうでない学生はやはり違いがある。<看護></p> <p>・社会貢献活動の門戸を数多く広く設けておられ、学生も参加しやすい風土となっていると思う。<歯科></p> <p>・全ての世代を相手とする学校であり、社会貢献、地域貢献を広げることで学生のモチベーションが上がると思う。<地域></p>